

第七回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：萌黄

【日時】

12月10日(土) 10:10~12:00

【場所】

荒川区役所 305 会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：その他

ステップ2：こうなって欲しいまちの姿や課題、
対応策を話し合おう

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、前回までの話し合いの内容を確認し、今回の話し合いの主旨の説明がなされた。

ステップ2：こうなって欲しいまちの姿や課題、対応策を話し合おう

最終発表会に向けて、今後の話し合いの方向性を話し合った。委員から、これ以上分野を広げると視点が色々広がってしまい、まとめられないので、今までの話し合いの中で自分たちが身近に感じているものを出した方が良いのではないかと提案があった。

最終発表会で、具体的な提案を行うために、「生活環境が良いまちづくり」と「安全なまちづくり」の二つのテーマに絞り込み、話し合いをすることとした。

【生活環境が良いまちづくり】

(街路樹について)

- ・ 区の木は桜なのに、自分の身近にはあまりない。
- ・ 街路樹は色々な問題がある。根が水道管やガス管を突き破る等の問題に対して、解決方法を考えていかなければならない。
- ・ まちの外観を考えると、街路樹はあった方が良い。
- ・ 桜は虫がつきやすく、手入れが大変なので、街路樹として増やしていくのはいかなものか。
- ・ 桜は道路に根が出てくるので、近隣の住宅に負担をかける。
- ・ 街路樹として植えるなら、ハナミズキが良いのではないか。
- ・ 街路樹を植えると、見通しが悪くなり、看板等が見えにくくなるので、商売をしている方からは反対の意見がある。
- ・ 道端にあるプランターの花は日当たりが悪く、あまり育たない。
- ・ それぞれの地域のニーズに合わせて、プランターを設置したり、街路樹を植えるように検討した方が良いのではないか。
- ・ 道幅が広いところだったら、街路樹はあった方が良い。

- ・ 街路樹で信号が隠れたりする場合は、配慮が必要である。

(ゴミ問題について)

- ・ ゴミの収集は朝早い時間でも良いので午前中にしてほしい。午後の遅い時間までゴミの収集がないと不衛生である。
- ・ ゴミの収集や捨て方を考えることは大切だが、ゴミを減らす方法も考えた方が良い。
- ・ 区の補助でコンポストを設置すれば、ゴミが少なくなり、人件費等の節減になる。また、ゴミで肥料をつくることによって、自然に還元できる。
- ・ コンポストを採用するためには、生ゴミだけを収集する仕組みづくりが必要である。
- ・ 企業は捨てる際に細かく仕分けする必要があるパッケージを考えてほしい。
- ・ ある大型スーパーは、食品の生ゴミをコンポストで処理し、できた肥料を客に配っている。一企業でもできるので、行政でもできるのではないか。
- ・ 昔のように、コーラや酒のピンを酒屋に持参する等の方法で、リサイクルできるものはリサイクルした方が良い。
- ・ 区役所の中に、紙コップをリサイクルするためのデポジットの紙コップ専用回収機があるが、区内の企業や公共施設にも設置してみたらどうか。
- ・ ゴミを減らすための方法を公募し、有効な意見があったら、行政で取り入れてPRをしてみたらどうか。
- ・ 自分の息子は名古屋市在住だが、最近、名古屋市ではゴミの分別が細分化されて、ゴミの出し方等も徹底するようになったと聞いた。荒川区も、名古屋市の方法を取り入れたら、ゴミ収集場所がきれいになるのではないか。
- ・ 牛乳パックを回収しなくなったことは、資源の問題として考えると、大変な損失である。
- ・ 牛乳パックはきれいに洗って、リサイクルに出すべきである。
- ・ 捨てる側も、燃えるゴミの袋にプラスチック製品を入れない等のモラルが必要である。

(自転車問題)

- ・ 町屋の駅前には放置自転車がいっぱいなので、駐輪場の確保が必要である。
- ・ 町屋の駅前の駐輪場は地下にあり、使い勝手が悪いので、地上に自転車を放置してしまう人がいる。お金を払ってでも良いから、もっと使い勝手が良い駐輪場がほしいと思う。
- ・ 日比谷線の三ノ輪駅周辺は、放置自転車がすぐに撤去されるので、自転車を置く人は少なくなった。
- ・ 放置自転車の撤去は区でやっているが、取り締りは誰がしているのか。シルバー人材センターの方に取り締まりの権限を与えてみたらどうか。
- ・ 昔は商店街に駐輪場を確保する義務があった。
- ・ 車の量は減っているように思うが、逆に自転車は増えていっているように思う。
- ・ 店の前に駐輪があると、商売の妨害になる場合がある。
- ・ 色々な立場の人達の意見や考えを聞いて、対策を考えていく必要がある。
- ・ 空き地があったら、駐輪場のために確保してほしい。
- ・ 商店街に駐輪場をつくと、人の流れが変わるので、駐輪場の設置を考えるのは難しい面がある。

- ・ 商店街や通勤者などを巻き込んで、協議会をつくり、駐輪問題について考えてみてはどうか。

【安全なまちづくり】

(防犯・防災)

- ・ 他地域では、一斉に小学校に集まって、実際の災害を想定した避難訓練、防災訓練をしている。荒川区でもそのような訓練が必要だと思う。
- ・ 防災センターを見学したが、いろいろな用具があり、興味深かった。しかし、実際の災害の際に、どう活用するのかわかりにくかった。
- ・ 災害の救助の際に、一般家庭にある物をどう利用するかの訓練が必要である。
- ・ 火災の際に窓から脱出できるように、シーツの結び方等を学ぶ必要がある。
- ・ 各家庭で、子どもに何か起こったときにどうするのかの教育・対策が必要である。
- ・ 学校教育の中で、災害時に実行に移せるような中身のある防災授業をしてほしい。
- ・ 有事の際の横のつながりが大切である。日頃からの消防、警察、医療等の連携が必要である

ステップ3：その他

【次回について】

次回は安全の観点で話し合いを続けることとした。

次回日程は、1月11日(水) 19:00より。

以上